

大学の施設マネジメントの推進

－ 法人化後の施設部課の在り方 －

【現状】

施設の老朽化・狭隘化

漏水等が発生したので、修繕を

築30年、そろそろ建て替えを

狭くなったので、増築を

- ・施設に係る業務を学内で個々に実施
- ・施設の不具合等をその場、その場で処置

結果として、教育研究活動に支障

総合的・長期的視点に立った施設マネジメントの導入

⇒国の役割
企画立案及び指導助言

【今後】

施設マネジメントの目的：①教育研究活動に対応した適切な施設を確保・活用
②経営的視点に立った施設管理

【施設マネジメントを行うシステムの構築】

①施設マネジメントのシステムづくり

- ・トップマネジメントの一環
- ・施設マネジメントに関する中期計画の策定と評価

②施設マネジメントの執行体制

- ・施設に係る事務体制の見直しと再構築
- ・施設業務の一元化と責任体制の確立
- ・大学運営の中核的機能の強化
- ・施設業務の効率化

③施設マネジメントに必要な人材の確保

- ・人材の養成
- ・学外からの人材の確保

【施設マネジメントの具体的方策】

①クオリティマネジメント

- ・施設の機能の確保と向上
- ・施設の安全性・信頼性の確保
- ・環境への配慮
- ・美しいキャンパスづくり

②スペースマネジメント

- ・施設の有効活用の徹底
- ・スペースの適切な配分
- ・費用負担制度の導入

③コストマネジメント

- ・蓄積した要修繕箇所(負の資産)の解消
- ・施設に係るトータルコストの削減
- ・経営戦略として施設に係る財源の確保

⇒国の役割
施設マネジメントに関する基準の策定

国際水準の教育研究環境の創造

- ・知の拠点にふさわしい環境の創造
- ・教育研究活動に求められる施設機能の向上

法人化時代を生き抜く戦略的施設管理の実践

- －守るべき財産から活かすべき資産へ－
- －施設を通じて大学運営に貢献－